

Document Capture Pro Server

Document Capture Pro Server Authentication Edition

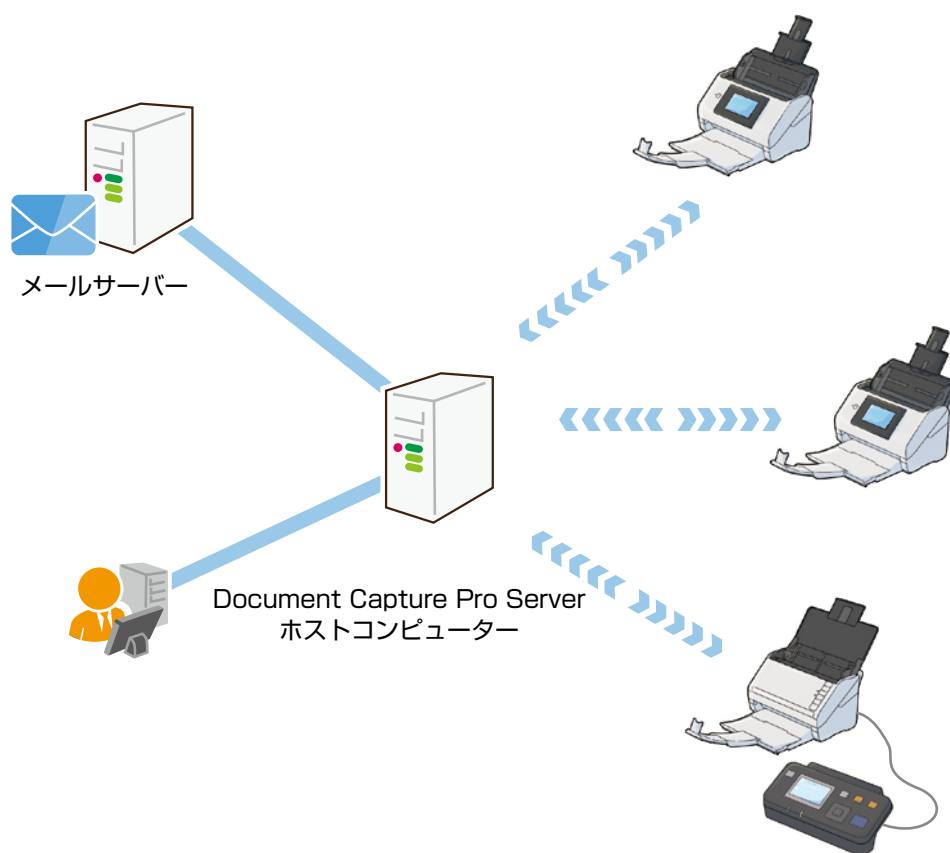
ソリューション概要

Document Capture Pro Server

Document Capture Pro Server (ドキュメント キャプチャー プロ サーバー) とは、キャプチャー&ワークフローを実現し、ドキュメントマネジメントシステムを支援するサーバーアプリケーションです。スキャナーやジョブを一括管理でき、クライアントコンピューターが無くても導入できます。

管理者があらかじめウェブブラウザーを使って管理者ページでスキャナーやジョブの登録をします。ユーザーは登録されたスキャナーのパネルからジョブを選択するだけで誰でも同じジョブを簡単に、間違いなく実行できます。

Document Capture Pro Server 対応のスキャナーを登録できます。



Document Capture Pro Server のソリューション

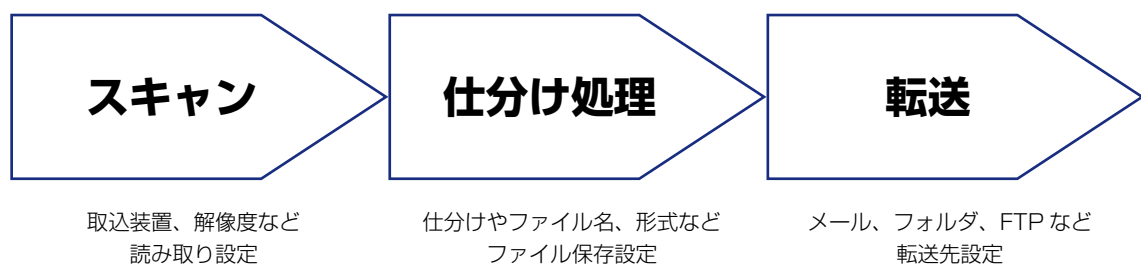
Document Capture Pro Server を導入すると、クライアントコンピューターが無くてもジョブ* 管理が可能になります。以下のメリットが期待されます。

① コスト削減

② 業務効率化

* ジョブとは

スキャン・保存・転送の一連の動作を設定したプロファイル。Document Capture Pro Server ホストコンピューター(サーバー)にジョブを登録することで、スキャナーからはパネルに表示されるジョブを選択するだけで一連の動作を実現できます。



また、ジョブはジョブグループで管理され、スキャナーとジョブグループを関連付けることで、スキャナーで利用できるジョブを簡単に登録できます。

スキャナー	ジョブグループ	ジョブ
Scanner-1	Design Group Job	Scan to PDF
		Scan to JPEG
Scanner-2		Scan to MOSS
		Scan to Printer
Scanner-3	Marketing Group Job	Scan to PDF
		Scan to Mail

① コスト削減（導入や設定に要するコスト）

事例

ある不動産管理業者では、各支店からコンピューターに接続したスキャナーで書類をスキャンして、メールで本社に送信している。

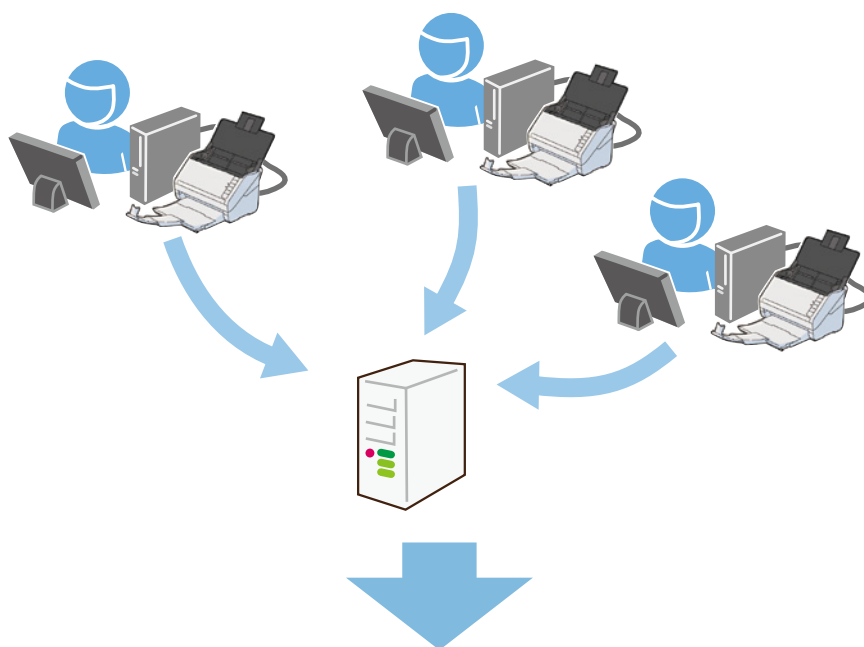
困りごと

支店ごとにスキャナーとクライアントコンピューターおよびソフトウェアのインストールと設定が必要であり、手間と費用がかかる。また、個別にコンピューターとスキャナーで管理されているために、それぞれの設定内容が勝手に変更されると、データが適切に本社へ送付されないおそれがある。

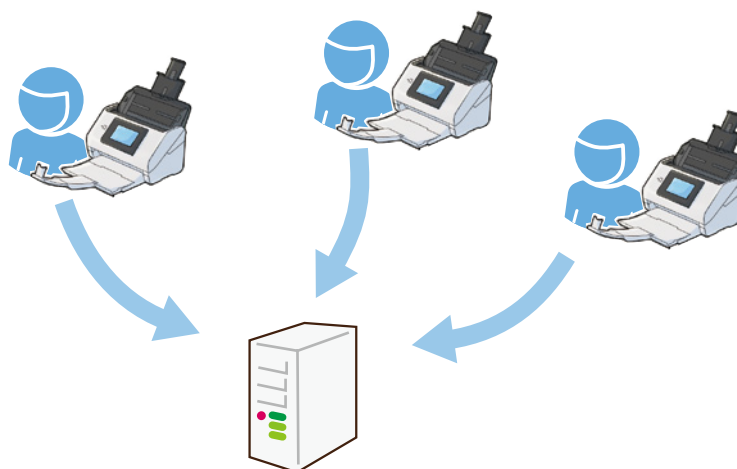
提供するソリューション

Document Capture Pro Server はクライアントコンピューターを必要とせず、サーバーでスキャナーとジョブを一括管理できる。ユーザーはスキャナーからジョブを選択するだけ。個別にコンピューターやスキャナーを準備したり、設定したりする必要がない。

Before



After



② 業務効率化（シンククライアント環境への対応）

事例

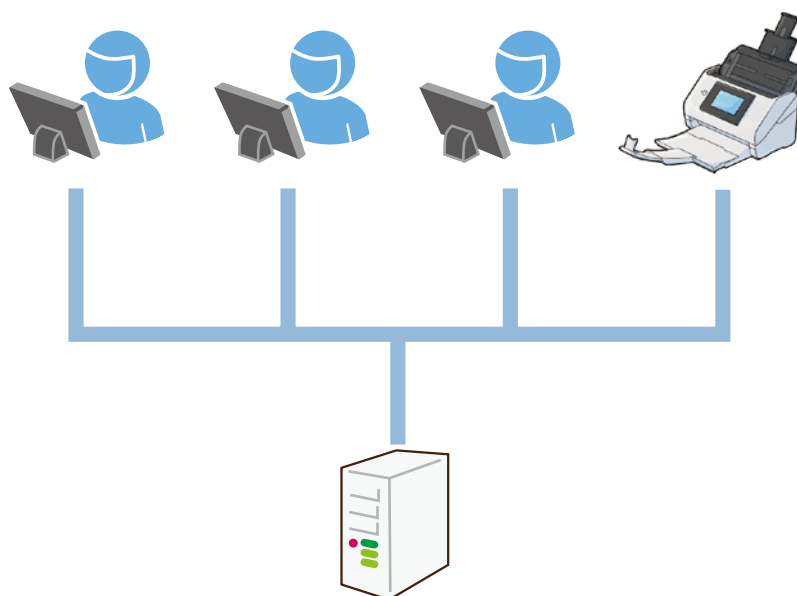
ある廃棄物処理業者では、全社的に書類の電子化、文書管理を進めている。調達関係書類やユーザーアンケート、技術資料などを電子化して管理。1,000 枚 / 日の書類を電子化することを目指している。

困りごと

シンククライアント環境では、ネットワーク共有によるスキャンができない。

提供するソリューション

シンククライアント環境を構築している Windows サーバーに Document Capture Pro Server を共存させて使用できる。



シンククライアントシステム + Document Capture Pro Server

Document Capture Pro Server Authentication Edition

Document Capture Pro Server Authentication Edition（ドキュメント キャプチャー プロ サーバー オーセンティケーション エディション）は、Document Capture Pro Server にユーザー認証機能を付加して管理機能を強化したアプリケーションソフトです。

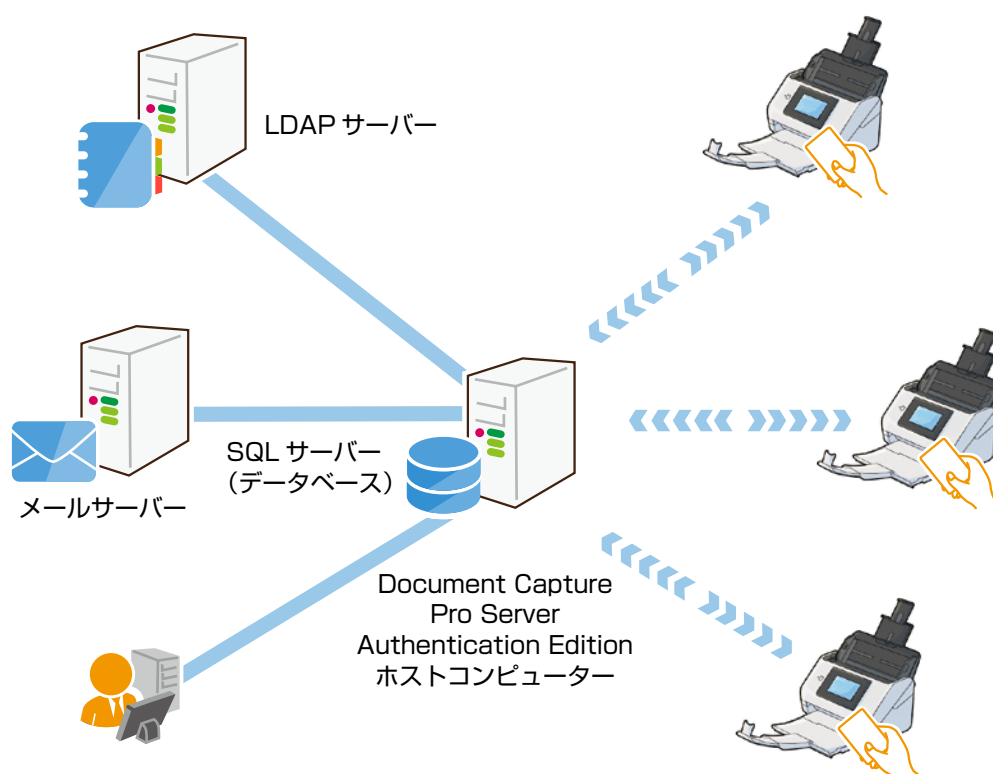
管理者があらかじめウェブブラウザを使って管理者ページでスキャナーやジョブ、ユーザーの登録をします。ユーザー管理はLDAPサーバーとも連携できるので、人数の多い組織でも導入の手間を少なくできます。

ユーザーはスキャナーにログオンしてスキャナーを使用します。

ユーザーとスキャナー、ジョブを関連付けて管理しているので、ユーザーに応じて以下のことができるようになります。

- ユーザーが利用可能なジョブだけをスキャナーのパネルに表示
- ユーザー情報（ユーザー ID、ユーザー名、メールアドレス）をスキャン結果に利用
- ユーザーやスキャナーの利用状況の把握

認証機能に対応した機種で利用できます。認証機能に対応していないスキャナーも登録できますが、認証機能は利用できません。



Document Capture Pro Server Authentication Edition のソリューション

Document Capture Pro Server Authentication Edition を導入すると、ユーザー認証 * が可能になります。
以下のメリットが期待されます。

① 使い勝手向上

② 業務効率化

③ コスト削減

* ユーザー認証とは

ユーザーの資格情報を管理してユーザーごとにスキャナーの使用を管理、監視します。これによってそれぞれのユーザーとスキャナーのさまざまな情報を結びつけたシステム運用が可能になります。ユーザーは、所属するグループごとに管理することもできます。

ユーザー認証を使った運用例：

ユーザーごとに使用できるスキャナーとそれに関連付けたジョブグループ、ジョブを設定できる。ユーザー A は 4 つのジョブがスキャナーのパネル上に表示されるが、ユーザー C は 1 つ（Scan to PDF）しか表示されない。

スキャナー	ジョブグループ	ジョブ	ユーザー A	ユーザー B	ユーザー C	ユーザー D
Scanner-1	Design Group Job	Scan to PDF	✓	✓		
		Scan to JPEG	✓	✓		
Scanner-2		Scan to MOSS	✓			
		Scan to Printer	✓	✓		
Scanner-3	Marketing Group Job	Scan to PDF			✓	✓
		Scan to Mail				✓

① 使い勝手向上（認証による間違いの防止）

事例

ある食品卸販売業者では、全社的に書類の電子化、文書管理を進めている。
注文書や配送伝票、見積書などを電子化して管理。2,000 枚 / 日の書類を電子化している。

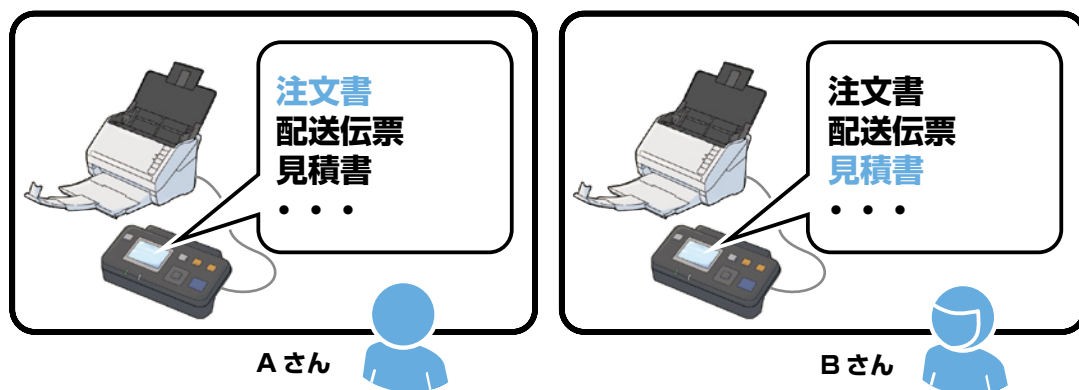
困りごと

スキャナーのパネルに担当業務とは関係のないジョブまで表示されていた。
表示されるジョブが多いため、ジョブを間違えて実行してしまい、スキャン先がわからなくなりデータを紛失してしまうケースがあった。

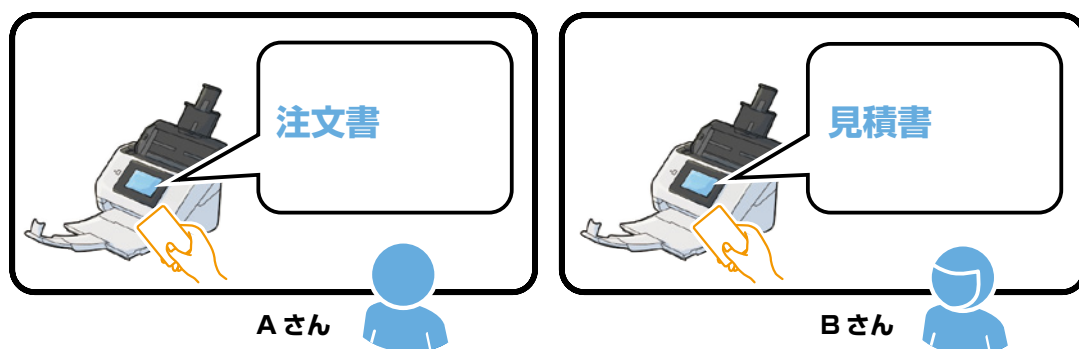
提供するソリューション

認証によって職場や個人に限定したジョブのみをパネルで表示。ジョブの選択間違いが”ゼロ”に！

Before



After



② 業務効率化（認証によるファイル名の個別表示）

事例

ある県の市役所では各部署で調達申請書類をスキャンして、サーバーコンピュータの共有フォルダーに保存。自分がスキャンしたデータをフォルダーから探して、他のシステムに貼り付ける作業を行っている。

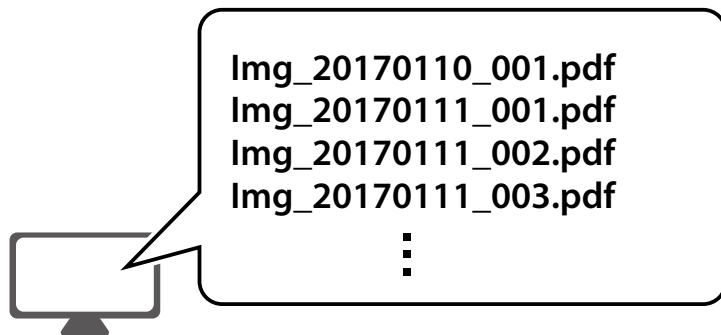
困りごと

自分がスキャンしたデータを職場の共有フォルダーから探すのが面倒。都度 PDF を開いて自分のデータであることを確認する必要があった。各人ごとのジョブを作るという回避策もあるが、全職員分のジョブを作るのは大変。

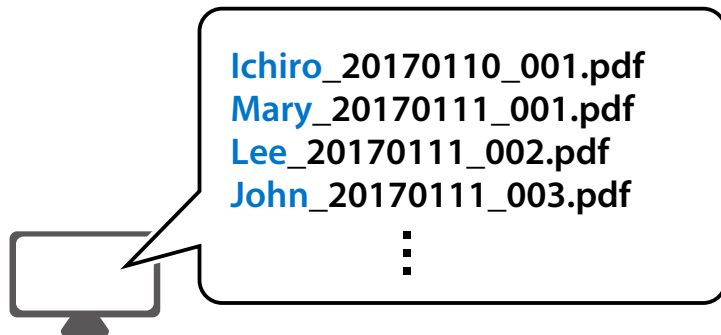
提供するソリューション

認証したユーザーに応じてユーザー名をファイル名やフォルダーに設定できる。自分のファイルが一目瞭然！

Before

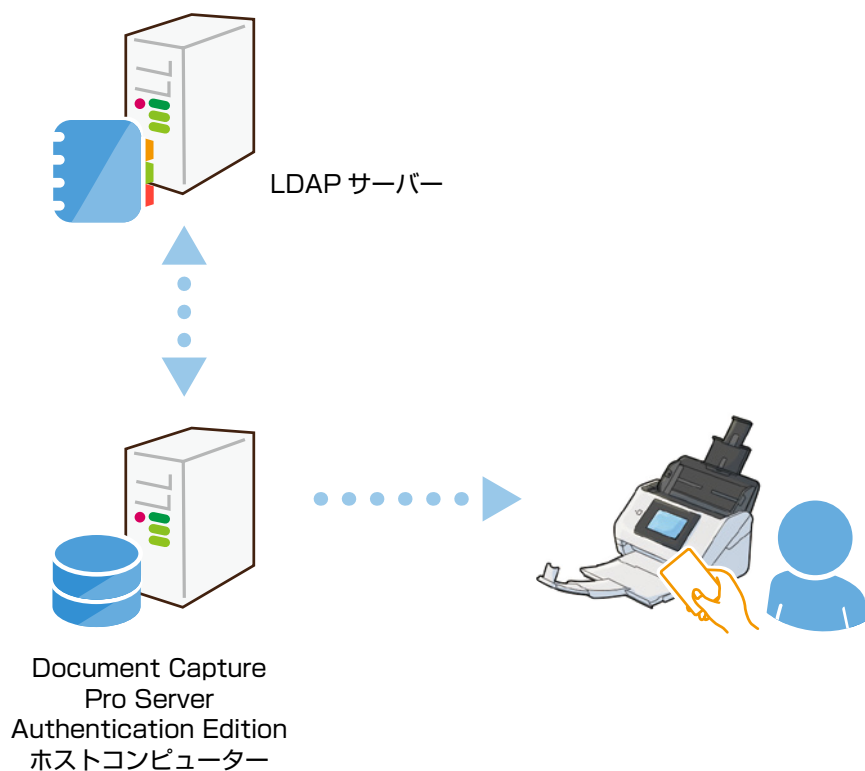


After



② 業務効率化（LDAP サーバーとの連携）

LDAP サーバーと連携ができるので、既存のデータベースが使用できます。都度のメンテナンスが不要なので、巨大な組織でも手間なく対応できます。



③ コスト削減（ログの収集による管理者負荷軽減）

事例

ある保険契約請負業者では、営業マンが契約書類を各営業所でスキャン。
管理者が上司に報告するために、使用状況に関するレポートをまとめる必要がある。

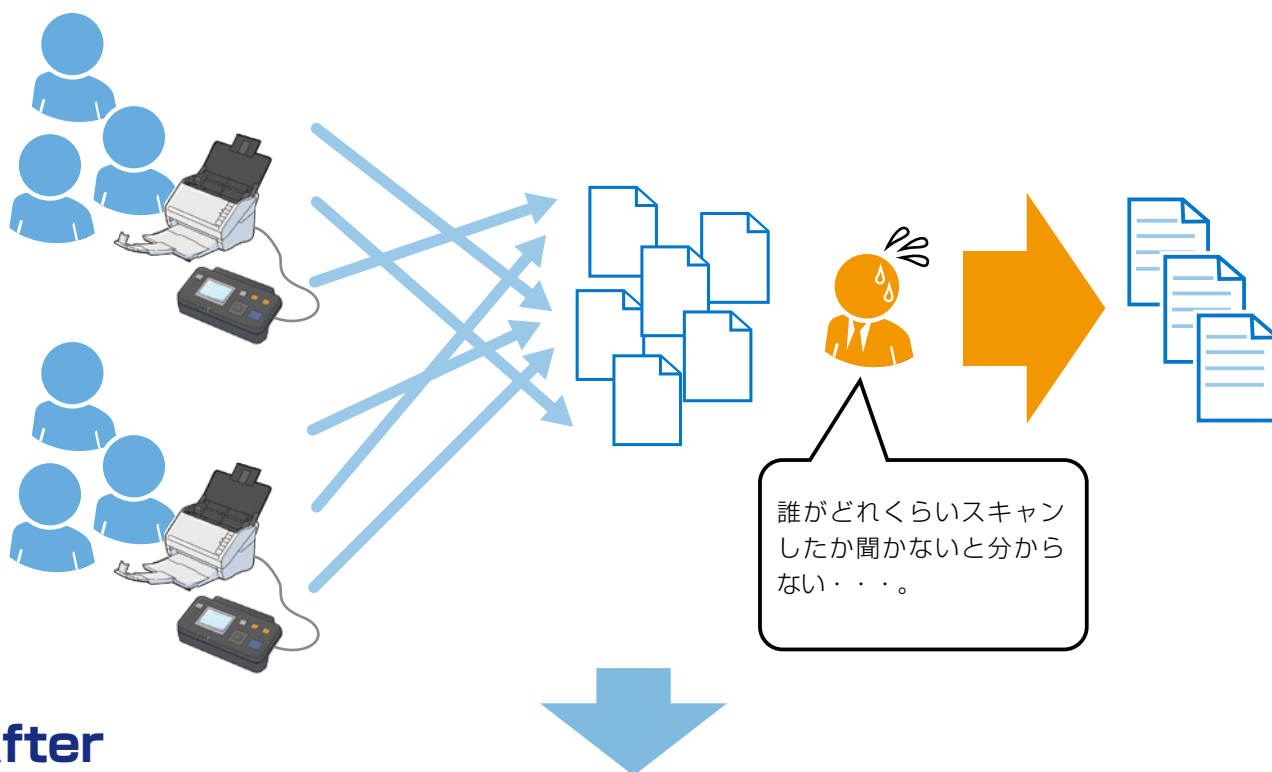
困りごと

スキャナーの稼働状況や使用者の記録が残らないので、レポート作成に時間がかかった。
またヒアリングなど人の記憶に頼るので、正確なデータを得るのが難しかった。

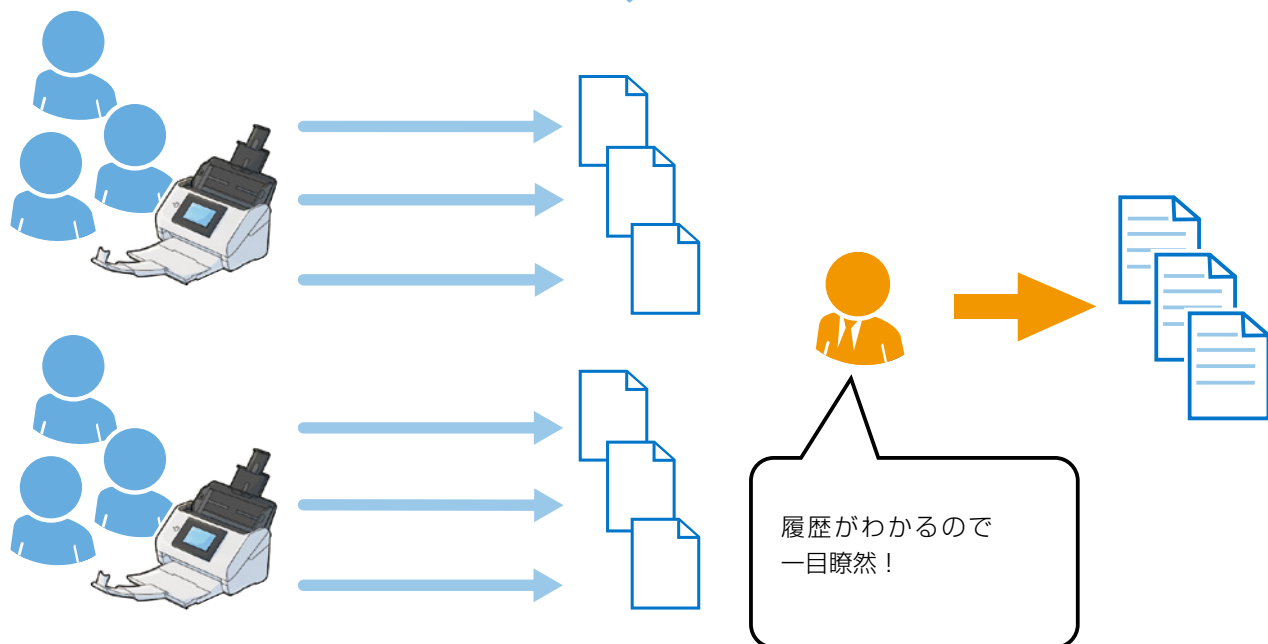
提供するソリューション

ユーザーに結びつけたスキャナーやジョブごとのレポートの生成、またシステムの稼働状況のログ管理ができる。誰がいつどれくらいスキャンしたか確認可能。

Before



After



Document Capture Pro Server と Document Capture Pro Server Authentication Edition の機能差

項目		DCPS* ¹	DCPS AE* ²
スキャナーの登録可能台数		100	100
管理可能対象	ユーザー	-	✓
	所属	-	✓
	ジョブグループ、ジョブ	✓	✓
	スキャナー	✓	✓
セキュリティ	ジョブ実行時のパスワード設定	✓	✓
	認証機能 (ID カード、ユーザー名 / パスワード、ID 番号)	-	✓
スキャナーの監視機能	即時メール通知（エラー発生時など）	✓	✓
	定時メール通知（日付ごとなど）	✓	✓
	レポート（ユーザー / 所属 / スキャナー / ジョブ 別）	-	✓
メンテナンス	ログの出力	-	✓
	システムのバックアップ	✓	✓

*1 : Document Capture Pro Server

*2 : Document Capture Pro Server Authentication Edition